

## 1 部局名

システムデザイン学部

## 2 学長指定課題

国際的人材育成を目指した教育の国際化

## 3 事業名

留学生の獲得と国際的人材育成を目指した教育の国際化促進  
ー授業の英語化に向けての第一ステップー

## 4 事業実施代表者名

システムデザイン学部長 諸貫 信行

## 5 事業の概要

海外からの留学生数を増やすことは、教育研究の環境と質を国際的な競争の場まで押し上げるだけでなく、日本人学生にとっても日々の交流を通しての国際感覚養成や海外留学促進の観点で、大きな効果が期待できる。留学生数の拡大に向けて、英語による授業の整備に始まる教育課程の英語化は必須であるとともに、日本人学生の英語力向上、もしくはそれに向けた意識改革にも繋がる。大学院の英語授業の整備は、既にいくつかの部局で進展しているが、学部・大学院を通しての一貫的な教育研究の国際化が理想であり、6年間あるいは9年間にわたり、教養科目から専門科目までの幅広い英語授業の開講が今後重要となる。留学生に対しては語学的に正しい英語で、日本人学生に対しては理解のしやすい英語で、双方にとって実質的で有益な授業を用意することが重要である。

まずは英語授業を実施しながら、その過程を通して問題を整理しその解決策を明らかにしていくことが、現実的な方策として有効である。本事業では、英語授業に必要な環境整備の最初のステップとして、教員側の英語授業に対する敷居を下げ、『まず、始めてみる』に繋がる動機づけを目的とする。具体的には、英語による講義資料の作成技術、及びその内容をわかりやすく伝えるための授業英会話テクニックの入門レベルの修得を推進し、学部全体として英語授業能力の向上を通して、専門科目の英語授業整備の準備を進める。

## 6 取組成果

### ◎英語プレゼンテーション研修

2017年度は、英語授業に役立つ英語フレーズと、スライド作成のポイントの研修を講義形式で実施した。英語授業のためと謳っていたが、内容的には国際会議のプレゼンで必要になるスキルと大きな違いはなく、多くの教員にとっては既知の内容であったと思われる。2018年度は、質問にとっさに対応するインタラクティブなプレゼンスキルを身につけるため、少人数の模擬授業形式で研修を実施した。英会話の講師も理解可能な内容とするために、中学生レベルの数学を題材とした。そのため技術的なレベルは低く、より専門的な内容を望む声が多かった。2019年度は、英会話の講師ではなく日頃から技術英作文の添削に携わる技術の分かる講師をお招きし、プレゼンは言語よりも図表の使い方が大切という観点から講義をしていただいた。

いずれも、国際会議等でのプレゼンになれた教員の方々には当たり前の内容かもしれないが、その意味

で出席者が伸び悩んだのは仕方がないかもしれないが、着任後、間もない助教の先生や大学院博士後期の学生には良い機会を提供できたと考えている。

### ◎e-ラーニング教材やその他の教材の整備

2017年度の研修内容をまとめた英語授業に役立つフレーズ集は、すでに関係者に展開して好評を得ている。2017年度の研修の映像ファイルは、容量が大きいため、どう取り扱うか検討していたが、2018年度に編集のめどがたったため、今間教授の協力を得てe-ラーニング教材として公開した。2018年度の研修は少人数の模擬授業形式で実施したため、受講者のプライバシー的な観点からビデオ化していない。2019年度の研修は、今間教授の助言からカメラ2台で撮影し、現在編集作業を依頼中である。完成次第、e-ラーニング教材として永続的に利用できる形で公開していく予定である。

### ◎留学生拡大の基盤整備

留学生の拡大やキャンパス生活向上のための調査検討を実施したが、シラバスの英語化については、必要性は認めつつも、外部業者への依頼はコストパフォーマンス的に満足なものは期待できず、自動翻訳と研究者自身のチェックを組み合わせた方法が現実的であるとの結論を得た。生活支援については「Hino Campus Student Life Guidebook 2019」作成への協力で一定の役割を果たした。

### ◎成果物リスト

3年間の事業で得られた成果を一覧にすると下記のとおりとなる。

#### 【e-ラーニングに関連するビデオ教材及び資料】

- ・2017年度公開の研修ビデオ（研修実施は2017年度）
- ・pdf資料「Dos and Don'ts: Common Mistakes to Avoid」
- ・pdf資料「Presentation English - 25 Professional Phrases」
- ・ppt資料「英語の授業資料：スライドデザインのヒント、“Telegraphic Style”
  
- ・2018年度公開の研修ビデオ（研修実施は2017年度）
- ・ビデオ教材「英語授業のためのスライド作成のコツ」
- ・ビデオ教材「英語授業のための役立つフレーズ」
- ・関連ppt資料「Human Eye」
  
- ・2019年度の研修ビデオ
- 「Presentation Graphics that Work」講師：Mike Blackburn（テクライト社）

これらの成果物については、今後も永続的に活用できるように、英語授業のフレーズ集やe-ラーニング教材、関連するスライドなどを、適切な媒体で公開するように工夫する。